

令和元年度 保護者アンケート【集計】

	学年 質問	1年生				2年生				3年生				全学年				1年生 平均値	2年生 平均値	3年生 平均値	全体 平均値
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	22	50	6	0	9	28	7	4	24	39	4	0	55	117	17	4	3.21	2.88	3.30	3.16
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	23	50	5	0	15	29	3	0	22	40	5	0	60	119	13	0	3.23	3.26	3.25	3.24
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	18	28	29	3	10	25	12	1	15	35	17	0	43	88	58	4	2.78	2.92	2.97	2.88
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	17	31	27	3	14	25	8	0	15	26	23	3	46	82	58	6	2.79	3.13	2.79	2.88
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	27	46	5	0	18	27	3	0	41	24	2	0	86	97	10	0	3.28	3.31	3.58	3.39
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	33	36	9	0	17	28	3	0	34	32	1	0	84	96	13	0	3.31	3.29	3.49	3.37
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	34	39	5	0	16	30	2	0	35	29	3	0	85	98	10	0	3.37	3.29	3.48	3.39
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	12	51	13	2	12	31	4	1	23	39	4	1	47	121	21	4	2.94	3.13	3.25	3.09
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	27	46	5	0	17	27	4	0	39	27	1	0	83	100	10	0	3.28	3.27	3.57	3.38
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	28	41	9	0	27	18	2	1	39	28	0	0	94	87	11	1	3.24	3.48	3.58	3.42
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	22	44	12	0	20	25	1	1	40	26	1	0	82	95	14	1	3.13	3.36	3.58	3.34
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	28	46	4	0	24	21	3	0	31	33	3	0	83	100	10	0	3.31	3.44	3.42	3.38
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	33	37	7	1	25	20	3	0	34	30	3	0	92	87	13	1	3.31	3.46	3.46	3.40
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	30	38	10	0	24	19	5	0	32	28	6	0	86	85	21	0	3.26	3.40	3.39	3.34
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	30	45	3	0	21	20	7	0	36	30	1	0	87	95	11	0	3.35	3.29	3.52	3.39
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	34	36	8	0	18	24	6	0	33	29	5	0	85	89	19	0	3.33	3.25	3.42	3.34
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	38	34	6	0	22	21	4	1	26	19	2	0	86	74	12	1	3.41	3.33	3.51	3.42
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	21	41	15	1	11	12	2	0	14	24	8	0	46	77	25	1	3.05	3.36	3.13	3.13
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	13	45	19	1	7	17	1	0	12	28	7	0	32	90	27	1	2.90	3.24	3.11	3.02
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	15	42	20	1	9	13	3	1	15	25	7	0	39	80	30	2	2.91	3.15	3.17	3.03

令和元年度 保護者アンケート【年度比較】

質問	入学年度	平成29年度			平成30年度		令和元年
	学年	1年次 (H29)	2年次 (H30)	3年次 (R1)	1年次 (H30)	2年次 (R1)	1年次 (R1)
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	3.08	3.20	3.30	2.86	2.88	3.21
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	3.29	3.27	3.25	3.36	3.26	3.23
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	2.84	2.98	2.97	3.22	2.92	2.78
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	2.79	2.95	2.79	3.07	3.13	2.79
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	3.24	3.45	3.58	3.16	3.31	3.28
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	3.55	3.49	3.49	3.44	3.29	3.31
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	3.26	3.42	3.48	3.40	3.29	3.37
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	3.00	3.02	3.25	3.11	3.13	2.94
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	3.32	3.51	3.57	3.41	3.27	3.28
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	3.43	3.55	3.58	3.45	3.48	3.24
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	3.22	3.42	3.58	3.37	3.36	3.13
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	3.21	3.35	3.42	3.33	3.44	3.31
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	3.39	3.44	3.46	3.42	3.46	3.31
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	3.32	3.36	3.39	3.51	3.40	3.26
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	3.29	3.40	3.52	3.25	3.29	3.35
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	3.45	3.49	3.42	3.25	3.25	3.33
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	3.24	3.53	3.51	3.11	3.33	3.41
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	3.05	3.21	3.13	2.86	3.36	3.05
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	2.95	3.17	3.11	2.97	3.24	2.90
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	2.95	3.09	3.17	2.63	3.15	2.91

令和元年度 保護者アンケート【全体グラフ】

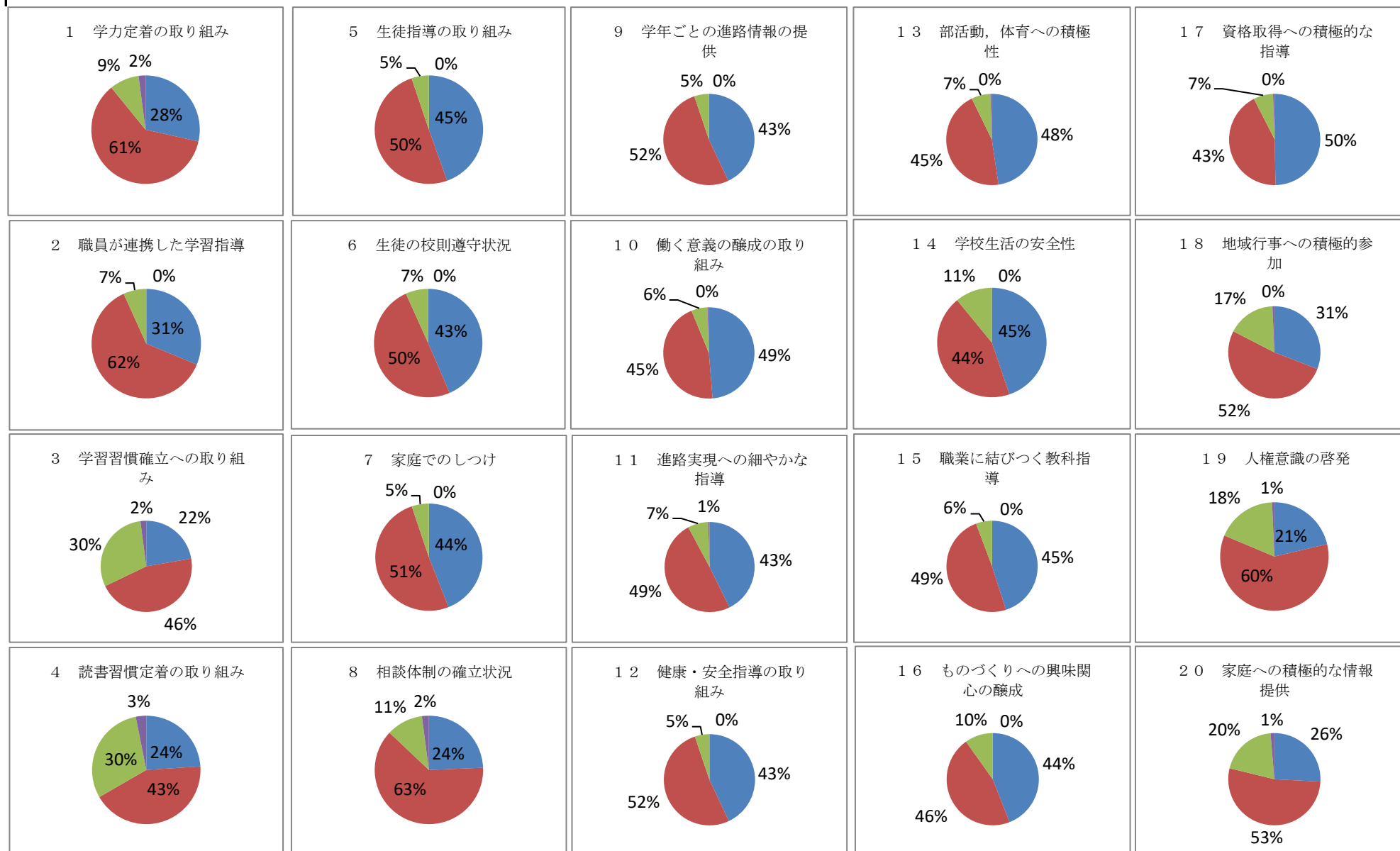
	学年 質問	1年生				2年生				3年生				全学年				1年生 平均値	2年生 平均値	3年生 平均値	全体 平均値
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	22	50	6	0	9	28	7	4	24	39	4	0	55	117	17	4	3.21	2.88	3.30	3.16
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	23	50	5	0	15	29	3	0	22	40	5	0	60	119	13	0	3.23	3.26	3.25	3.24
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	18	28	29	3	10	25	12	1	15	35	17	0	43	88	58	4	2.78	2.92	2.97	2.88
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	17	31	27	3	14	25	8	0	15	26	23	3	46	82	58	6	2.79	3.13	2.79	2.88
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	27	46	5	0	18	27	3	0	41	24	2	0	86	97	10	0	3.28	3.31	3.58	3.39
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	33	36	9	0	17	28	3	0	34	32	1	0	84	96	13	0	3.31	3.29	3.49	3.37
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	34	39	5	0	16	30	2	0	35	29	3	0	85	98	10	0	3.37	3.29	3.48	3.39
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	12	51	13	2	12	31	4	1	23	39	4	1	47	121	21	4	2.94	3.13	3.25	3.09
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	27	46	5	0	17	27	4	0	39	27	1	0	83	100	10	0	3.28	3.27	3.57	3.38
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	28	41	9	0	27	18	2	1	39	28	0	0	94	87	11	1	3.24	3.48	3.58	3.42
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	22	44	12	0	20	25	1	1	40	26	1	0	82	95	14	1	3.13	3.36	3.58	3.34
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	28	46	4	0	24	21	3	0	31	33	3	0	83	100	10	0	3.31	3.44	3.42	3.38
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	33	37	7	1	25	20	3	0	34	30	3	0	92	87	13	1	3.31	3.46	3.46	3.40
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	30	38	10	0	24	19	5	0	32	28	6	0	86	85	21	0	3.26	3.40	3.39	3.34
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	30	45	3	0	21	20	7	0	36	30	1	0	87	95	11	0	3.35	3.29	3.52	3.39
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	34	36	8	0	18	24	6	0	33	29	5	0	85	89	19	0	3.33	3.25	3.42	3.34
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	38	34	6	0	22	21	4	1	26	19	2	0	86	74	12	1	3.41	3.33	3.51	3.42
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	21	41	15	1	11	12	2	0	14	24	8	0	46	77	25	1	3.05	3.36	3.13	3.13
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	13	45	19	1	7	17	1	0	12	28	7	0	32	90	27	1	2.90	3.24	3.11	3.02
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	15	42	20	1	9	13	3	1	15	25	7	0	39	80	30	2	2.91	3.15	3.17	3.03

凡例



4：よくあてはまる
2：あまりあてはまらない

3：ややあてはまる
1：まったくあてはまらない



(参考資料)

令和元年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	教務	教務	83%の保護者が「あてはまる(4と3)」と評価しており、おおむね授業内容や指導方法に理解をいただいていると考えられる。しかし、2年生の平均値(2.88)が極端に低い理由を検証し、進路決定を行う来年度に向けて、改善する必要がある。また、3割程度の未回答(未提出)者は、子どもの学校生活・学習状況に関心が低いと思われるので、評価が高いと考えにくい。年次が上がるにつれ評価が向上する傾向があるので、学校の取り組みや生徒の学習の様子などの情報提供を積極的に行い、問題点を共有できる体制づくりが必要と考える。
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。			「あてはまる」の回答は95%と保護者の評価は高い状況である(H29:89%, H30:93%)。学習に関する他の項目(1, 3, 4)よりも高値であることから、出工タイムでの「マナトレ」や資格検定への補習など、学年や学科(コース)での連携した学校の取り組みは、ある程度は理解されていると思われる。ただ、取り組み自体が評価されていても、学習指導に対する実績や効果については、しっかりと検証すべきである。
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。			「あてはまらない」との評価が全項目の中で32%と最も多く、昨年度(17%)よりも大きく下がった。ベネッセの学習力調査でも、1年生41%, 2年生51%, 3年生46%が家庭学習を「全くしない」と回答している。「学習習慣の確立」=「自発的な家庭学習」と考えれば、保護者が資格試験や定期考査などの学習状況を十分に把握して、家庭での習慣づけ指導が重要であることを認識してもらう必要がある。また、進路実現と学習習慣の関連性を、保護者に理解してもらうような取り組みを、学校側もより行うべきであろう。短期的な効果になるが、宅習課題を積極的に課すことも検討する必要もある。
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。		図書・研修	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答したのは約7割の保護者だった。評価平均値は2.88であった。朝読書の取り組み、図書委員会の活動や図書館の雰囲気作りなどは外部に伝わりにくいことであるので、やむを得ない評価であると思われる。読書習慣については幼い頃からどれだけ本に触れていたかということも大きく関係している。出水市は読書についてはさまざまな取り組みをしているので、高校でも読書の素晴らしさを伝える活動を地道に続けていくことが大切である。
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	生徒指導	生活指導・交通指導	2・3年生に関しては、学年が上がるにつれて平均値が高くなる傾向が見られた。より学校への理解をいただいていることかと思う。一方、2・3年生では若干回収率が下がっているため、そこでの因果関係があるのか。今後も保護者への周知や理解を深められるよう情報発信が必要である。
6	生徒は、交通マナーや校則(頭髪・制服等)をよく守っている。			保護者の意識は昨年とあまり変わらないが、2学年においては評価平均値が3.44(H30)から3.29と下がってきている。交通においては、違反・事故ともに減少傾向にあるが、家庭と学校でよりいっそう規則を守る事を徹底したい。また、この項目においては、学年が上がると若干平均値が下がっている。学年が上がるにつれて生徒自身にルーズさがみられる傾向にあると思われる。
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。			2年生にやや低い傾向が見られる。上記でも記載したが、この項目に関しても回答率との因果関係があると思われる。生徒の基本的な生活習慣や身なり、身だしなみについては保護者の指導も重要であることを周知するとともに、家庭と学校との連携を深めたい。

(参考資料)

令和元年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果	
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	生徒指導	教育相談	保護者の8割以上が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しているが、「まったくあてはまらない」という回答が2%、「あまりあてはまらない」という回答が11%あった。この質問については「あてはまらない」と答える家庭が少しでもあれば、相談体制の見直しを行い、生徒・家庭にとって相談しやすい環境をつくる必要があると考える。加えて、ひき続き、SC来校日の周知や家庭との密な連携に努めたい。	
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	進路指導	進路情報	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年度並みの95%と高い状況だった。ただし、「よくあてはまる」という評価に関しては前年より3ポイント減り43%になっている。進路情報提供の方法や内容の改善が必要である。	
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。			「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年より2ポイント減り94%となったが、進路ガイダンスや県内企業説明会などの実施や、専門性や将来の進路を考慮した就業体験学習の実施が評価につながっていると思われる。	
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。			進路相談	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年度並みの92%と高い状況だった。1年生の「よくあてはまる」の評価が例年低くなっており、進路指導部とクラス担任、ならびにクラス担任と家庭との連携の強化が必要と思われる。
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	保健	保健	肯定的な評価が95%であり、昨年度と同等の結果となった。昨年度は「まったくあてはまらない」という意見が一件あったが、今年は0件であった。各種健康診断や講話などを通じての生徒への健康・安全指導に対して、保護者も肯定的にとらえていることが分かる。治療率の向上などの課題があるので、より一層保護者と連携を図る必要がある。	
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。			体育指導	肯定的な評価が93%であった。昨年度の95%から若干下がった。「あてはまらない」「まったくあてはまらない」という回答が一学年の保護者からやや多く出た。全体的には運動に親しむ生徒が多く、保護者の方々も、生徒の心身の成長を感じての授業や部活動、体育的行事への評価だと思う。今後も全職員で、生徒の体力の維持、向上のための指導を継続して行っていく必要がある。
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。			安全指導	肯定的な評価が、昨年度より6%減の89%であった。「あてはまらない」「まったくあてはまらない」という回答が増えたことは看過してはならない。来年度は安全点検を定期的に行うなど、環境整備の徹底や、危険箇所の点検はもちろん、具体的に生徒や保護者が「安全ではない」と感じる点はどこか意見を求め耳を傾けて改善しなければならない。

(参考資料)

令和元年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	各学科	建築	建築関係以外の就職を考えている生徒に対して、専門分野や業界についての理解を深められるように、専門教科への興味関心を持たせる充実した指導を行う必要がある。
			機械電気	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が全体で94%と非常に高い状況となった。1・2年生に関しては、肯定的評価が90%を超えたが、2年生のみ90%を下回った。肯定的評価に学年間格差が出ている状況なので、今後もキャリア教育の視点での教科指導の充実が必要である。
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	各学科	建築	入学当初よりおおむね達成しているようだが、2学年での興味関心を持たせる工夫が必要になっていると思われる。
			機械電気	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が全体で89%と高い状況となり、特に3年生が90%を超える状況だった。肯定的評価に学年間格差が出ている状況なので、今後も実習内容の改善と充実が必要である。
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	教務	学習検定	92%の保護者が「あてはまる」と回答しており、保護者も学校で行っている補習等の取り組みを知っているようである。ただし、1年：3.41、2年：3.33、3年：3.51と、2年生だけ低い値を示しており、年度比較でも同じ傾向を示している。他の質問項目でも同じように2年生の評価平均値だけが低い傾向があり、2年生の活動全般を情報提供、共有していく必要があると思われる。
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。		教務	毎年度、80%以上の保護者が「あてはまる」と評価している項目である。地域に開かれた文化祭や大産業祭への出店(今年度は不参加)、出工たよりの頒布などの積極的な学校PR活動が認知されているようである。専門高校が地域と連携して様々な活動を行う流れは県内各地で盛んになっており、今後も続いていくと考えられる。他校との差別化を図った企画をいかに作っていくか、検討する必要がある。
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	教務	人権同和教育	「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」という回答が合計で19%であった。昨年度よりも6ポイント上昇している。本校は人権同和教育推進校ということもあり、年3回以上の研修やLHR等を実施しているものの、保護者には見えにくい部分があるのではないかと考えられる。また、1年生の保護者の評価平均値だけが3.00を切っているのが気かりである。今後もしっかりと人権・同和教育を継続し、生徒が正しい人権意識を持てるように「事実と実践」をしっかりと積み上げていくことがなによりも大切であると考え。そうすることで保護者の学校へのとらえ方も自然に変わるのではないかと考える。
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。			昨年度と同じく80%の保護者が「あてはまる」と回答しており、学級通信や各種たよりはある程度は届けられ、有効に活用されていることがうかがえるが、1年生の低評価(2.91)は問題である。生徒便による配付物が届かない家庭は固定化されていると推測されるので、学校HPやブログ、安心メールなどを充実・活用し、直接、保護者に情報発信していくことがさらに必要であると考え。